

禁煙で心房細動リスクが低減

心房細動の発症に対する喫煙の影響についての研究はいくつか報告されているが、一貫した結果は得られていない。喫煙と心房細動リスクの定量的な関連を同定することは、心房細動の管理および予防に重要である。本研究では、喫煙と心房細動の関連についての前向き研究についてメタ解析を行った。

Cochrane Library、PubMed、Embase データベースを用いて、喫煙と心房細動の関連を報告した研究を系統的に検索したところ、16 件の前向き研究が選択基準を満たした（被験者 286,217 例、心房細動症例 11,878 例）。解析の結果、心房細動有病率は喫煙者で高かった（リスク比：1.23； $P=0.001$ ）。また、生涯非喫煙者と比較したリスク比は現喫煙者で 1.39、過去喫煙者で 1.16（8 件の論文）、現喫煙者および過去喫煙者を生涯非喫煙者と比較したリスク比は 1.21（4 件の論文）、現喫煙者を生涯非喫煙者および過去喫煙者と比較したリスク比は 1.21（7 件の論文）であった。世界的に、男性では心房細動リスクの 6.7%、女性では 1.4%が喫煙によるものと推測された。

したがって、喫煙は心房細動発症リスクの増加に関連していた。また、禁煙すると、喫煙による心房細動リスクは低減するが、完全に取り除かれるわけではないことも示された。

出典：International Journal of Cardiology. 2016 Sep 1; 218: 259-266